



筑波大学 北アフリカ研究センター
Alliance for Research on North Africa,
University of Tsukuba

第70回ARENA定期セミナー

中東情勢と 世界の石油・ガス需給への影響

日時：平成26年7月22日（火曜日）17:30～19:00

場所：北アフリカ研究センター会議室（共同利用棟101）

講演者：武石 礼司 氏

東京国際大学 国際関係学部 教授

講演要旨：シリア、エジプト、リビア、イラク等、中東・北アフリカ地域での混乱が早期に収まらない状況となっている。紛争の拡大は、中東・北アフリカ地域の政治・経済・社会のいずれの面でも重荷となり、さらに世界的にも原油価格の高騰、紛争の波及、テロ拡大の可能性を増している。

一方、米国発のシェール革命により、米国がエネルギー輸入国から輸出国に転換することで、世界的にもエネルギー需給の従来の構造が見直され、輸出入ルートが変更となり、輸出入の方向の逆転すら生じようとしている。今後、中東地域が担ってきた世界のエネルギー供給者としてのポジションが維持可能か、紛争の継続がどのような負の影響を生じさせることになるかを検討する。

平成26年度ARENA定期セミナー世話人：

Islam（イスラム）（ARENA助教 内線3992）

上山 一（ARENA助教 内線7871）